

踏み跡 <My Mountains>

北都留	浅川峠から権現山	No.277
-----	----------	--------

中央本線で梁川を過ぎてから猿橋までの間、北側の車窓に見える山。扇山・百蔵山とその後ろに立つ権現山の三つを合わせて都留三山という。



大菩薩嶺の南、石丸峠あたりから南東に走る長い稜線「牛の寝通り」は桂川の岸辺で終端となる。終端となる少し前で最後の踏ん張りを見せる盛り上がりが都留三山である。

昭和38年5月恩田と二人で登ったのが第一回目、昭和47年1月かみさんと結婚後初めての山歩きが二回目。

都留三山へは二度出かけているが、いずれも扇山と百蔵山だけで権現山だけが残ってしまった。三山を一日で歩くのは時間的に無理なので、どうしても後ろ側に控えてい

る権現山が残ってしまう。残り残した山を塗りつぶして行きたい者としては、やはり気になる山である。ユニシス山中湖マラソンのついでに歩く山歩きとして計画した。

平成9年4月20日

天気は曇り、いつものように山中湖寮を9時に出発。中央自動車道を大月まで下りて国道20号線を鳥沢まで、そして県道大月上野原線経由で仲間川へ。棚頭の集落の奥の二股（扇山沢の出会い）に車を止めて身支度。10時06分行動開始。奥山から沢の右岸を高巻くルートに入ると昔の登山道の痕跡と思しき標識がいくつか目に入った。11時10分河原の小屋で小休止。沢を横切って浅川峠への小尾根に取り付くべきポイントだが、崩壊によって踏み跡が消えてしまっている。注意深く踏み跡を確認しながら登って行くと再び昔の登山道と思われる鮮やかな踏み跡になった。こんな感じで少々ロスタイムがあったところへ、良質のワラビの群れに遭遇してしまい、さらにロスタイムが発生することになってしまった。

浅川峠12時、昼食は山頂での楽しみにとっておき、チョコレートと水で空腹をいやし16分間の小休止。正面に滝子山と大菩薩の南部の山並みがうかがえる。

(下写真：浅川峠から北側の眺め ～中央部木の陰あたりが権現山～左側は葛野川に落ちる長い稜線)



峠から見晴らしの良い伐採地を登って行くと、正面に権現山の大パノラマを置いた贅沢な眺め。権現山(海拔1311.9m)13時12分。想像に反して寒々しい山頂だったので、浅川峠の北側の見晴らし

の良い伐採地まで戻ってから昼食することに変更。13時45分伐採地で昼食と30分の休憩。

下り道はワラビ採りを楽しみながらというこれまた贅沢な山歩き。

浅川峠14時40分。今朝の登りでは沢の右岸を選んだので、下山路は河原の小屋から左岸の斜面を上って林道を選んでみた。

扇山沢出合いの車デポ地点に15時45分に帰着。顔を洗って15時57分に出発。道路事情は比較的良く、18時30分には家に着くことができた。

以上